

平成29年度

Kakomon-Shōkai 2017

通訳案内士試験 二次口述過去問詳解

(上)

英語

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



本試験の様子、出題再現、傾向と対策、解答例と解説等、
必勝を期す全ての挑戦者にとって不可欠な情報を満載！

過去問研究なくして合格なし 全受験者必携！

「楽しい学習による自己実現」を応援する

PEP英語学校
We are full of PEP!

平成29年度

Kakomon-Shōkai 2017

通訳案内士試験 二次口述過去問詳解 (上) 英語

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



まえがき

通訳案内士試験二次口述試験は、平成 25 年度より大幅にその形式と内容がリニューアルされた。その変化は「より客観的で公平な試験」を目指すものである。

具体的には、まず従来のような「雑談風の質疑応答」そして「ガイドとしての決意表明での締め括り」といういかにも情緒的主観的な面接態様が姿を消し、ガイドラインに定められた課題が約 8 分間（27 年度から 10 分間）で着実に問われるようになった。そしてその課題は、①逐次通訳、②プレゼンテーション&質疑応答、という客観性や論理力が試されるものとなった。これは同試験が、かつての「一種の就職試験」から「真の資格試験」へのシフトされている傾向の発現である、と分析することができる。

これは、日本が観光立国を目指すという潮流と無関係ではない。今後観光業が発展するとすれば、日本を外国語で説明できる通訳案内士の数は増加させる必要がある。しかし、増員という政策的理由から、通訳案内士の質の低下を招いては国家資格を設けた意味がない。そこで、試験においては客観的な能力を問うことに力点を置き、一定以上の水準にある者は合格させて有資格者の層を確保した上で、各自のパーソナリティによる絞込みについては資格取得後の就業段階に委ねる、という方針であると考えればこの傾向の説明はつく。つまり本試験は、個性ではなく能力を試す方向へと変化したのである。

そうだとすれば、資格試験準備の「定跡」たる過去問研究の意義はますます高まる。本書は、実際の受験者の報告をもとに、新・通訳案内士試験二次口述の姿を明らかにしたものである。ここでは、本試験で出題された逐次通訳、プレゼンテーションの両課題が再現され、それらに対する解答例と解説が示されている。通訳案内士試験突破を目指される方が本書を活用され、みごと合格の栄冠を勝ち取られることを期待する。

PEP 英語学校 校長 杉森 元

分冊刊行について

平成 25 年度より実施された新形式の二次口述試験では、逐次通訳課題とプレゼンテーション課題がセットになった問題組が、試験時間帯ごとに準備される。平成 25 年度と 26 年度は、合計 6 つの時間帯それぞれに 1 組、計 6 種類の問題セットが準備された。しかし、平成 27 年度には、各時間帯に 4 ないし 6 種類の問題セットが準備され、大幅な問題増となった。そして、その翌年及び翌々年の平成 28、29 年度には、各時間帯に 2 種類の問題セットが用意されるにとどまった。この問題数変遷の理由は発表されていないが、おそらく問題漏洩防止の観点から、試験委員は平成 27 年度より、各時間帯につき複数の問題セットを準備することにしたが、漏洩対策が目的なのであれば、各時間帯に 2 つで十分であり、4 ないし 6 までも増加させる必要はないと考え直したため、翌年以降は各時間帯に 2 種類の問題を準備するにとどめたものと思われる。

当書『過去問詳解』シリーズは、新形式初年度の平成 25 年度より毎年、その年の過去問とその解答・解説を収録しているが、出題問題セット数の変遷に伴って、平成 25、26 年度はそれぞれ単巻、平成 27 年度は上・中・下の三分冊、平成 28 年度は、上・下の二分冊で発行された。本年度 29 年度は前年度と同じ上・下の二分冊で発行する。

ここにおいて、試験の一般情報と全出題の再現については、上巻の「概論編」に、そして時間帯 1 & 2 & 3 の解答解説について同巻の「解答解説編」にまとめ、そして下巻では、全出題の再現を「概観編」に、そして時間帯 4 & 5 & 6 における出題再現と解答解説を「解答解説編」に掲載する、という編纂方針を採った。

新形式も 5 年目になり、すでにかかなりの量の過去問が蓄積されている。過去問は受験準備のための最良の素材であり、通訳案内士の業務におけるニーズを反映した、合格後も役立つ情報の宝庫であることは多言を要しない。学習者諸氏におかれては、以上をご理解の上、平成 25 年度以降の全過去問を必ず検討された上で受験準備に当たられることをお勧めする。

著者

ガイドライン改正（H30/3/30）について

すでにご承知の方も多いように、平成 30 年 3 月 30 日付のガイドライン改正により、通訳案内士試験は、その名称を「全国通訳案内士試験」と名称変更され、試験内容についても若干の変更がなされることになった。

一次筆記試験については、新科目「通訳案内の実務」が追加されるなどの変更があり、二次口述試験については、以下のような変更があった。

1. 通訳問題について

(1) ガイドライン文言の変更

課題の名称を「通訳問題」から「通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」へ変更した。そして、この課題につき、「試験委員に対して、受験者は全国通訳案内士としての適切な受け答えをすること」という注意書きが付された。

(2) 評価—実質的にどう変わるのか

(a) 課題の名称を「通訳問題」から「外国語訳」へ変更した意図はハッキリしないが、従前「通訳問題」につき「試験官が読み上げる問題内容については、メモを取ることを認める」とされていた部分が、改定後もほぼそっくり残されていることから見て、実質的には「通訳」をする課題のまま、変更はないと思われる。

(b) 最も大きな変更は、「全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」が加えられた点である。従前、通訳問題については質疑応答がなかったところ、改正によりこれが課されることになる。この質疑は、「全国通訳案内士として求められる対応」に関するものであると定められている。この「全国通訳案内士として求められる対応」が「通訳案内の現場で必要となる知識等」とイコールであるのか、すなわち、質疑の内容は、先行した「外国語訳」の問題文に関するものであるのか、については文言上明らかでない。ただ、そう考えるのが自然であると思われる。

この質疑については、「試験委員に対して、受験者は全国通訳案内士とし

での適切な受け答えをすること」という注意書きが付された。この注意書きの内容は、当たり前と言えば当たり前の内容であり、単なる確認規定と読むこともできる。ただ、重要なのは、質疑に先行する「外国語訳」（通訳）という課題は、「試験委員の言っていることを受験者がそのまま（内容を変えず言語だけを変えて）言う」ものであるのに対し、「質疑」では「受験者は、相手の問に対し、自分で考えた内容の答を言う」というものであって、同じ「言う」でも、両者はその性質を異にする、という点である。つまり、「プレゼンテーション問題」においては、受験者が自分の考えたことをスピーチし、その後、自分のスピーチに関する質問を受けるのに対し、「外国語訳」においては（「質疑」が先行する問題文の内容に関するものである場合）、試験委員が「勝手に」話した内容について、受験者は質問を受けなければいけないわけである。前者は自然な流れであるのに対し、後者はやや不自然であるといえるだろう。よって、受験者としては、この旨を意識し、外国語訳をした後、質問を受ける際には、頭の切り替えを行う必要がある、ということになるだろう。

(c) 問題文の内容につき、従前は何ら限定がなかったが、今回の改正により「通訳案内の現場で必要となる知識等に関する」という文言が加えられた。ただ、これまでの過去問についても全て「通訳案内の現場で必要となる知識等に関する」に該当する、ということが可能なので、ここは実質的な変更に関わらない可能性が高いと思われる。

2. プレゼンテーション問題について

(1) ガイドライン文言の変更

文言上、「試験官」を「試験委員」にした以外の変更はなく、従前と同様に行われるものと考えられる。

(2) 評価

プレゼンテーションは、通訳ガイドにとって「現場の実務そのもの」ということもでき、合格後も常に研鑽が求められる（合格後の各団体における新人研修においても、プレゼンテーションが課される）。過去、改正を繰り返してきたガイドラインにおいても、「口述試験は受験者に通訳案内の業務を疑似的に行わせることにより実施する」という部分は一貫して変

ページ
中略

参考：ガイドラインにおける二次口述に関する部分の改正前後比較表

※変更・追加された部分に波線を施してある

改正前	H30/3/30 改正後
<p><u>VI.</u> 口述試験について</p> <p>(1) 試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史及び一般常識に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について判定するものとする。 ・試験を受けることができる外国語は、受験者が筆記試験において選択したものと同一のものとする。 ・試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。 ・試験時間は、10 分程度とする。 ・終了者からの問題の漏洩を避けるため、当該時間帯の間、終了者を未受験者と別の部屋に待機させ、通信機器を預かる等の措置を取るとともに、時間帯によって大きな差が出ないように質問内容のレベルを合わせるなど、受験者間で不公平が生じないような方法とする。 ・内容は、試験官が読み上げる日本語を<u>外国語へ通訳する「通訳問題」</u>、提示される3つのテーマから受験者 	<p><u>VII.</u> 口述試験について</p> <p>(1) 試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史、一般常識及び<u>通訳案内の実務</u>に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について判定するものとする。 ・試験を受けることができる外国語は、受験者が筆記試験において選択したものと同一のものとする。 ・試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。 ・試験時間は、10 分程度とする。 ・終了者からの問題の漏洩を避けるため、当該時間帯の間、終了者を未受験者と別の部屋に待機させ、通信機器を預かる等の措置を取るとともに、時間帯によって大きな差が出ないように質問内容のレベルを合わせるなど、受験者間で不公平が生じないような方法とする。 ・内容は、試験委員が読み上げる日本語を外国語訳し、<u>その問題文に関連した質疑を行う「通訳案内の現場</u>

が1つを選び、外国語で説明を行い、そのテーマについて試験官と外国語で質疑応答を行う「プレゼンテーション問題」の2題とする。なお、「通訳問題」において、試験官が読み上げる問題内容については、メモを取ることを認める。

(2) 合否判定

・合否判定に当たっては、試験官ごとに基準が大きく異なることがないよう、あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な評価基準を設定しておくものとする。合否判定は、原則として6割を合格基準点とし、当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。

評価項目

- ・プレゼンテーション
- ・コミュニケーション（臨機応変な対応力、会話継続への意欲等）
- ・文法及び語彙
- ・発音及び発声

で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」、提示される3つのテーマから受験者が1つを選び、外国語で説明を行い、そのテーマについて試験委員と外国語で質疑応答を行う「プレゼンテーション問題」の2題とする。なお、「通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」において、試験委員が読み上げる問題内容については、メモを取ることを認める。

・「通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」については、試験委員に対して、受験者は全国通訳案内士としての適切な受け答えをすること。

(2) 合否判定

・合否判定に当たっては、試験委員ごとに基準が大きく異なることがないよう、あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な評価基準を設定しておくものとする。合否判定は、原則として7割を合格基準点とし、当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。

評価項目

- ・プレゼンテーション
- ・コミュニケーション（臨機応変な対応力、会話継続への意欲等）
- ・文法及び語彙
- ・発音及び発声
- ・ホスピタリティ（全国通訳案内士としての適切な受け答え等）

(全国) 通訳案内士試験ガイドラインより抜粋

概論編	1
本試験の運営状況	3
本試験当日のタイムテーブル	3
会場到着まで	6
受付から大待合室まで.....	8
小待合室から面接室前まで.....	9
面接室へ	10
課題1「逐次通訳」	11
課題2「プレゼンテーション+Q&A」	11
試験終了後.....	13
付録1—定番の質問	13
付録2—これってどうなの?	15
逐次通訳課題	15
プレゼンテーション課題.....	17
試験問題の再現	19
時間帯1（面接時間 10:00-11:00）	20
問題セット1	20
問題セット2	20
時間帯2（面接時間 11:00-12:00）	21
問題セット1	21
問題セット2	21
時間帯3（面接時間 13:30-14:30）	22
問題セット1	22
問題セット2	22
時間帯4（面接時間 14:30-15:30）	23
問題セット1	23
問題セット2	23
時間帯5（面接時間 16:00-17:00）	24
問題セット1	24
問題セット2	24

時間帯 6 (面接時間 17:00-18:00)	25
問題セット 1	25
問題セット 2	25
出題傾向の分析	26
全体.....	26
逐次通訳	27
プレゼンテーション.....	29
過去問研究の重要性.....	29
出題予想資料	35
新課題に対する考え方	38
逐次通訳	38
プレゼンテーション.....	40
二次口述対策に有用な教材・講座.....	45
解答解説編.....	51
時間帯 1	53
問題セット 1	53
逐次通訳.....	53
問題	53
解答例	53
英語表現.....	53
関連知識と通訳のコツ	53
プレゼンテーション.....	54
問題	54
解答・解説	54
① 交番.....	54
プレゼンテーション例.....	54
英語表現	55
プレゼンテーション例の和訳	56
質疑応答で出された質問	56

② インスタ映え.....	58
プレゼンテーション例.....	58
英語表現.....	59
プレゼンテーション例の和訳.....	60
質疑応答で出された質問.....	61
③ 奥入瀬溪流.....	61
プレゼンテーション例.....	61
英語表現.....	62
プレゼンテーション例の和訳.....	63
質疑応答で出された質問.....	64
問題セット2.....	65
逐次通訳.....	65
問題.....	65
解答例.....	65
英語表現.....	65
関連知識と通訳のコツ.....	65
プレゼンテーション.....	66
問題.....	66
解答・解説.....	66
① たこ焼き.....	66
プレゼンテーション例.....	66
英語表現.....	67
プレゼンテーション例の和訳.....	67
質疑応答で出された質問.....	68
② 伏見稲荷大社.....	69
プレゼンテーション例.....	69
英語表現.....	69
プレゼンテーション例の和訳.....	70
質疑応答で出された質問.....	71
③ 待機児童問題.....	73
プレゼンテーション例.....	73

英語表現	73
プレゼンテーション例の和訳	74
質疑応答で出された質問	75
時間帯 2	76
問題セット 1	76
逐次通訳.....	76
問題	76
解答例	76
英語表現.....	76
関連知識と通訳のコツ	77
プレゼンテーション.....	77
問題	77
解答・解説	78
① 夏祭り	78
プレゼンテーション例.....	78
英語表現	78
プレゼンテーション例の和訳	79
質疑応答で出された質問	80
② 前方後円墳.....	85
プレゼンテーション例.....	85
英語表現	86
プレゼンテーション例の和訳	86
質疑応答で出された質問	87
③ テレビ離れ.....	87
プレゼンテーション例.....	87
英語表現	88
プレゼンテーション例の和訳	89
質疑応答で出された質問	90
問題セット 2	91
逐次通訳.....	91
問題	91

解答例	91
英語表現.....	91
関連知識と通訳のコツ	92
プレゼンテーション.....	92
問題	92
解答・解説	93
① シルバーウィーク	93
プレゼンテーション例.....	93
英語表現	93
プレゼンテーション例の和訳	94
質疑応答で出された質問	95
② 爛酒.....	96
プレゼンテーション例.....	96
英語表現	96
プレゼンテーション例の和訳	97
質疑応答で出された質問	98
③ 絵馬.....	99
プレゼンテーション例.....	99
英語表現	100
プレゼンテーション例の和訳	101
質疑応答で出された質問	101

時間帯 3 **105**

問題セット 1	105
逐次通訳.....	105
問題	105
解答例	105
英語表現.....	105
関連知識と通訳のコツ	105
プレゼンテーション.....	106
問題	106
解答・解説	106

① 潮干狩り	106
プレゼンテーション例	106
英語表現	107
プレゼンテーション例の和訳	107
質疑応答で出された質問	108
② 回転寿司	108
プレゼンテーション例	108
英語表現	109
プレゼンテーション例の和訳	110
質疑応答で出された質問	110
③ 神道	112
プレゼンテーション例	112
英語表現	112
プレゼンテーション例の和訳	113
質疑応答で出された質問	114
問題セット2	118
逐次通訳	118
問題	118
解答例	118
英語表現	118
関連知識と通訳のコツ	118
プレゼンテーション	119
問題	119
解答・解説	119
① コミックマーケット	119
プレゼンテーション例	119
英語表現	120
プレゼンテーション例の和訳	120
② 宮内庁	121
プレゼンテーション例	121
英語表現	122

プレゼンテーション例の和訳	123
質疑応答で出された質問	124
③ 満員電車.....	124
プレゼンテーション例	124
英語表現	125
プレゼンテーション例の和訳	125
質疑応答で出された質問	126

概論編

本試験の運営状況

試験問題の再現

出題傾向の分析

新課題に対する考え方

二次口述対策に有用な教材・講座



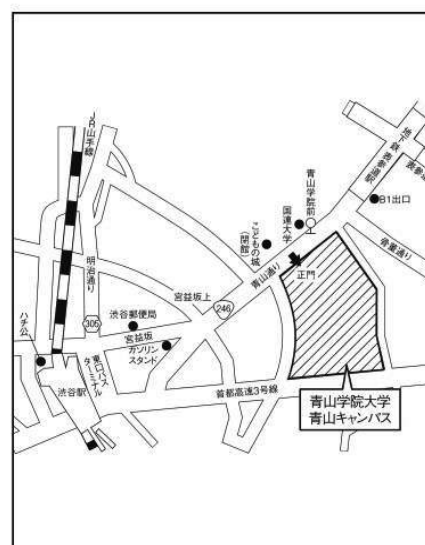
本編では、受験者からのレポートによる貴重な情報に基づき、本試験の運営状況と実際の出題を再現し、これに対する傾向と対策を概観する。

本試験会場の様子（2017/12/3 撮影）



東京第3会場 青山学院大学 青山キャンパス

試験会場案内図		青山学院大学 青山キャンパス
所在地	東京都渋谷区渋谷4-4-25 <small>(右地図参照)</small>	
交通案内	<ul style="list-style-type: none"> ・JR山手線、JR埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 他「渋谷」駅下車 徒歩約10分 ・東京メトロ銀座線、東京メトロ千代田線、東京メトロ半蔵門線「表参道」駅下車 徒歩約5分 	
(注意1)	試験会場およびその周辺への駐車・駐輪はできません。試験当日は鉄道等の公共交通機関を利用してください。	
(注意2)	試験会場となる大学・施設等は、当該試験業務は行っていませんので、電話等による道順の照会等は絶対に行わないでください。	
(注意3)	当日は日曜日につき、交通機関の本数が少なくなります。遅刻をした場合には、受験ができない場合もございます。会場までの交通機関の時刻等をあらかじめ確認し、時間には余裕を持ってお越しください。	
(注意4)	会場内は全面禁煙です。ご承知おください。	
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験開始から解散まで最長90分を予定しております。 2. 受付後から拘束時間となり、ご自身の試験が終了しても解散の指示があるまでお待ちいただきます。お待ちいただけない場合は、試験を無効とします。 3. 受付後、解散までは、携帯電話等通信機器の使用を禁止します。 4. 受験者本人以外の試験会場への入場はご遠慮ください。 5. 受験に際しては、係員の指示に従ってください。上記に違反した場合は、係員の判断により退場または失格とさせていただきます。 	



受験者のための会場案内（JNTOのホームページより）

本試験の運営状況

本試験当日のタイムテーブル

	時間帯 1	時間帯 2	時間帯 3	時間帯 4	時間帯 5	時間帯 6
9:00	受付 9:00-9:25					
9:30	大控室にて 全体説明 9:30-9:45					
10:00	小控室へ 順次移動 9:45～					
10:30	面接時間 10:00-11:00 (1人10分 ずつ、各面 接室につき 6人まで面 接可能)	受付 10:00-10:25				
		大控室にて 全体説明 10:30-10:45				
		小控室へ 順次移動 10:45～				
11:00	11:15 まで 待機室にて 待機し解散	面接時間 11:00-12:00 (1人10分 ずつ、各面 接室につき 6人まで面 接可能)				
11:30						
12:00	12:45 まで 待機室にて 待機し解散					
12:30			スタッフ ランチ タイム			
			面接官 ランチ タイム			
			受付 12:30-12:55			

ページ
中略

会場到着まで

受験者は、まず案内に従って試験会場へ赴く。二次試験は、東京、大阪、福岡だけで行われるので、受験者の中には地方（一部には海外）から遠路旅行の後、前夜はホテル等に泊まり、そこから会場へ向かう方もおられる。キャリーバック等、大荷物の受験者が見られるのはそのためである。

受験者の服装は「ビジネスカジュアル」が多数派のようである。ただ、ジーンズなどのラフな服装の人もある。また逆に着物でドレスアップした女性も見受けられる。おそらく、よほど非常識な服装でない限り、服装で減点される、ということはないのであろう。女性が着物でドレスアップしていけば、話のネタぐらいにはなる可能性があるが、それで加点されるということもないであろう。要は、受験者本人が快適な服装であれば、それが一番よい。もし「万が一にも服装で損をしたら…」と気になるようであれば、それは「快適」でない、ということである。その場合は、迷わずにスーツを着ていくべきであろう。スーツなら無難であることは間違いない。

なお、試験会場が大学などの場合、同一会場で行われる他の催し物への参加者の人の流れが、同じ狭い道の上に生じることがある。また、後述のように、受験者はチェックイン後に第一控室⇒第二控室⇒面接室前⇒面接室⇒面接後一時待機所⇒解散時間までの待機所、と5回も移動しなければならない。しかも、各部屋は階が異なることもあり、さらにエレベーターが備わっていない場合もあるので、大きな荷物を持っていたり、着物を着ていたりすると、少々不便なこともある。

会場に到着したら、まず受験者は受付を済ますことになる。この際、心得ておくべきは、受付をしてしまうと、爾後、解散時刻（受付開始時刻から原則2時間15分後）までの間「拘束」される、ということである。つまり受付後は、そのまま第一待合室へ連れて行かれ、以降、試験終了解散時刻まで指定区域の外に出ることはできない。これは、もちろん、試験問題の漏えいを防ぐ趣旨である。

指定区域の中では携帯電話等の通信機器の使用は禁止（これは非常に厳しく管理される）だし、食事も喫煙も禁止である。水分補給は待合室内にいる間までは許されるが、飲料類の自動販売機は指定区域内にないこともあるので、のどがカラカラに乾いても飲み物が手に入らない、という事態も起こり得る。また、トイレに行くにも挙手をして、係員の引率の下でな

ページ
中略

◆ 受験票には書いていない「チェックイン前のチェック事項」

1. 飲み物は持っているか（指定区域内には、自販機がないことがある）
2. トイレは済ませたか（指定区域内では、係員の引率が必要となる）
3. 急ぎの電話等は済ませたか（指定区域内では通信機器の使用は禁止）
4. 食事は済ませたか（指定区域内では食事は禁止）
5. 区域内は禁煙なので、一服したいスモーカーは済ませる

◆ 受験票には書いていない「持ち物」

1. 防寒着・防寒具（カイロ等）（会場の廊下等で暖房がきいていないことがある）
2. 紙の本（自分の面接が終わっても、その時間帯の受験者グループが解散するまで携帯等はいじれない。1時間以上に及ぶ待ち時間を過ごすために本が必要である。ちなみに新聞はダメ）
3. 小さな鏡（男性も、面接直前にネクタイが曲がっていないか確認するなどのために持っているると便利である。トイレに行けば鏡ぐらいはあるだろうが、指定地域内でトイレに行くには手続きがあり、煩雑である）

受付から大待合室まで

試験時間の1時間前から受け付けが開始される。その後25分間以内に受け付けを済ませなければならない。受付では、受験者は受験票、一次筆記合格通知書（あるいは一次試験免除案内）と写真付身分証明書（運転免許証など）を提示し、受付で首からストラップで下げる形の番号札を渡され、着用するように求められる（番号は、受験番号とは別の番号で「〇ー〇」という形式である。左は面接室番号で1から始まって面接室の数だけあり、右は面接の順番を示すもので、1～6以内である）。ハイフン以下の数字が若い人は、すぐに面接が始まるので、トイレはチェックイン前に済ませておくべきである。この番号札は爾後、常に見えるようにして首から下げておかなければならない。なお、受付は到着順に行われるが、番号札は受

験者ごとにあらかじめ決まっております、面接の順番を受験者側で操作することはできません。

受付後、まず大部屋（収容人数 100 人ほど）の待合室へ導かれる。大部屋では、番号ごとに指定された席に着く（受験者が首に下げている番号が紙に書かれたものが机の上に張り付けられているので、それぞれ該当の席に座る）。黒板に注意事項が板書されてある。その板書と同一の内容を書いた A4 の紙が、机の上にも置かれ、かつ、口頭でも繰り返し説明される。注意事項の内容としては、通信機器の使用は禁止（外見が紛らわしい機器、たとえば携帯プレーヤーなどのイヤホンなども禁止）で、携帯電話はオフにして鞆にしまわなければならない（本当にオフにしたかのチェックまでは行わないが、呼び出し音が鳴るなどして発覚した場合には、故意過失を問わず失格のペナルティがあるので、受験者側で確実にオフにする必要がある。）、電子辞書は通信機能がなければ使用可である（電子機器は原則全て使用不可で、通信機能のない電子辞書のみが例外である。ただし、係員が、通信機能がない旨の確認をするために声を掛けることがある）、本、参考書を読むことは OK、受験者同士の会話禁止、食事（飴、ガム、ゼリーなども含む）は不可だが、飲み物は OK、トイレに行く際は、挙手してあるいは係員の声掛け（男女別に 3 回ぐらいある）に応じて、係員の付添いの上でトイレまで移動し（行き帰りともグループが揃うのを待たなければならない）、その際、手荷物（特に携帯電話）は置いていかなければならない、等である。なお、トイレは混んでいる場合があるので、特に女性は、水分摂取とトイレに行くタイミングに注意が必要である（なお、女子大が会場の場合は、逆に男子トイレが不足して混み合う、という現象も起きている）。受付終了時刻終了後、5 分のインターバルを置いて（つまり、受付開始時刻の 30 分後から）、受験上の注意事項の説明が始まる。

小待合室から面接室前まで

受験上の注意事項の説明（15 分間割り当てられている）が終わると、別の階の小部屋（収容人数 50 人ほど）に 10 人程度のグループでの移動が開始される。この控室において、受験者は番号ごとにあらかじめ決められた席に座って順番を待つ。その後、順次 1 人ずつ面接室前の廊下の椅子へ移動して各自の順番を待つ（傍らの床に荷物を置くよう指示する掲示あ

ページ
中略

試験問題の再現

受験者を合計6つの時間帯のグループに分け、時間帯1～6まで、それぞれ2組の「逐次通訳＋三択プレゼンテーション課題」セットが割り当てられた（本書掲載のセット番号1ないし2は、筆者が任意に順不同で振り当てたものである）。よって、問題の数は、逐次通訳が $2 \times 6 = 12$ 個（逐次通訳課題のタイトルは、その問題文のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである）、プレゼンテーション課題は $3 \times 2 \times 6 = 36$ 個あったことになる（各セット中のプレゼン課題番号①～③は、筆者が任意に順不同で附したものである）。

時間帯 1 (面接時間 10:00-11:00)

問題セット 1

逐次通訳	<p>「カツ丼」</p> <p>カツ丼は、ご飯の上に、タレと卵でとじた豚カツを乗せたドングリ料理です。庶民的な家庭料理ですが、外食としても人気があります。一般的なカツ丼は、いったん豚カツを作り、これを玉ねぎとタレで軽く煮こんでから溶き卵を入れ、温かいご飯の上に乗せて食べます。(122 字)</p>
プレゼン	<ul style="list-style-type: none">① 交番② インスタ映え③ 奥入瀬溪流

問題セット 2

逐次通訳	<p>「梅雨」</p> <p>日本には、北海道を除き、春と夏の間「梅雨」と呼ばれる雨季があります。日本は南北に長いので、沖縄と東北では梅雨が約1カ月ずれます。梅雨が終わると本格的な夏が来て、気温が上がります。梅雨は日本の農業、特に稲作にとって重要です。(112 字)</p>
プレゼン	<ul style="list-style-type: none">① たこ焼き② 伏見稲荷大社③ 待機児童問題

時間帯 2 (面接時間 11:00-12:00)

問題セット 1

逐次通訳	<p>「パクチー」</p> <p>パクチーは、独特な香りから好き嫌いが分かれます。近年、東南アジア料理の人気の高まるにつれ、専門レストランができ、スーパーでも売られるようになりました。以前は中国語や英語で呼ばれていましたが、今ではタイ語でパクチーと呼ばれています。(115字)</p>
プレゼン	<ul style="list-style-type: none">① 夏祭り② 前方後円墳③ テレビ離れ

問題セット 2

逐次通訳	<p>「三鷹の森ジブリ美術館」</p> <p>三鷹の森ジブリ美術館は、東京の三鷹市にある市立のアニメーション美術館です。館主は宮崎駿監督で、「となりのトトロ」や「魔女の宅急便」などの絵コンテを展示しています。台湾、香港、オーストラリアなどから、多い時には一日 1000 人以上の外国人観光客が訪れます。(123字)</p>
プレゼン	<ul style="list-style-type: none">① シルバーウィーク② 爛酒③ 絵馬

ページ中略

時間帯 4 (面接時間 14:30-15:30)

問題セット 1

逐次通訳	<p>「プレミアムフライデー」</p> <p>プレミアムフライデーは、政府と経済界で作った政策で、月末の金曜日は仕事を早めに切り上げ退社し、買い物をしたり、友達と食事をしたり、旅行に出たりすることを促進する、消費喚起が目的です。2017年2月24日から開始され、消費促進だけでなく、充実した満足感の高い生活スタイルを構築することも目的としています。(151字)</p>
プレゼン	<ul style="list-style-type: none">① 厳島神社② 夏目漱石③ 割烹着

問題セット 2

逐次通訳	<p>「道後温泉」</p> <p>道後温泉は、四国愛媛県松山市に湧出する温泉です。日本三古湯の一つとして、その存在は古くから知られ、万葉集にもその名が記されています。また、夏目漱石の小説『坊っちゃん』に登場したことでも有名で、愛媛県を代表する観光地となっています。共同浴場がある道後温泉本館は、街のシンボルです。(139字)</p>
プレゼン	<ul style="list-style-type: none">① 大相撲② ちらし寿司③ 門松

時間帯 5 (面接時間 16:00-17:00)

問題セット 1

逐次通訳	<p>「花火大会」</p> <p>日本では、花火大会が夏の風物詩です。7月から8月にかけて、各自治体で花火大会が開催されます。一部の地域では、大きな花火大会が行われます。特に、江戸中期からの伝統と格式がある東京の隅田川の花火大会は格別で、屋形船から見る花火はおすすめです。(119字)</p>
プレゼン	<p>① 民泊 ② ジンギスカン ③ 千羽鶴</p>

問題セット 2

逐次通訳	<p>「ねぶた祭」</p> <p>東北三大祭りの一つである青森のねぶた祭りは、8月上旬に行われます。歌舞伎をテーマにした人形の山車とともに、ハネトと呼ばれる踊り手が街を練り歩く、大変勇壮な祭りです。最近では、ねぶた祭りはアメリカ、フランス、ブラジルでも行われており、国際交流に一役買っています。(130字)</p>
プレゼン	<p>① お刺身 ② お歳暮 ③ 一富士二鷹三茄子</p>

時間帯 6 (面接時間 17:00-18:00)

問題セット 1

遂次通訳	<p>「日光東照宮陽明門」</p> <p>日光東照宮の陽明門は、日本を代表する素晴らしい芸術作品で、国宝に指定されています。一日中見ても飽きないので、「日暮の門」とも呼ばれています。今年、44年ぶりに21回目の修復を終え、古代中国の故事や聖人をかたどった500以上の美しい彫刻が蘇りました。(126字)</p>
プレゼン	<ul style="list-style-type: none">① 風呂敷② 七草③ ドローン

問題セット 2

遂次通訳	<p>「摩周湖」</p> <p>摩周湖は、北海道の東部に位置する湖です。火山の噴火によってできた窪地に水が溜まってできたカルデラ湖で、周囲は20キロメートル、最大水深は約212メートルあります。透明度がとても高く、青以外の光をあまり反射しないことから、よく晴れた日の湖面の色はとても美しい青色になり「摩周ブルー」と呼ばれています。(149字)</p>
プレゼン	<ul style="list-style-type: none">① 鯉のぼり② おせち料理③ 桜前線

出題傾向の分析

全体

出題分野に関して、一昨年（12題）、昨年（5題）と出題された「飲食物」は引き続き、①「カツ丼」（通訳）、②「たこ焼き」（プレゼン）、③「爛酒」（プレゼン）、④「回転寿司」（プレゼン）、⑤「ちらし寿司」（プレゼン）、⑥「ジンギスカン」（プレゼン）、⑦「お刺身」（プレゼン）、⑧「七草」（プレゼン）、⑨「おせち料理」（プレゼン）、と9題も出された。飲食物は、旅行における大きなアトラクションの1つであることから、今後も続く傾向であると考えてよいであろう。

H27年度に初めて出題された「人物」は、昨年度は出題がなかったところ、本年 H29年度は「夏目漱石」（プレゼン）で1題のみながら、復活した（なお、本年度の通訳問題「道後温泉」の中でも、漱石への言及あり）。この点は、H28年度の過去問詳解で「歴史的人物の叙述をさせる出題は、ガイド試験における数十年来の伝統であるので、これは将来、いつでも復活する可能性があると考えられる」と予言したことが的中している。今後も要注意である。

次に、ガイド試験における定番中の定番である「明治維新」であるが、本年度は出題がなかった。しかし、ガイド試験の「明治維新好き」は過去問を概観する限り明らかであるので、今後も万全の準備が必要である。

この他の定番として、「年末年始」については、①「インスタ映え」（プレゼン、年末恒例の「新語・流行語大賞」関連）、②「絵馬」（プレゼン、初詣関連）、③「門松」（プレゼン）、④「一富士二鷹三茄子」（プレゼン）、⑤「七草」（プレゼン）、⑥「おせち料理」（プレゼン、とたくさん出題された。前年度の「鏡開き」（プレゼン）、②「初詣」（プレゼン）、の2題から大幅増である。

なお、「温泉」「浮世絵」「新幹線」からの出題は H27 以降、ゼロだが、お題として出されなくても、こうしたトピックは依然、質疑応答などで頻出であり、重要性に変わりはない。

一昨年以来出題されている「旅行業界プロパー」の出題（「ゴールデンルート」「日本の免税制度」「グリーンツーリズム」等）は、今年ほぼなかった。ただ、「シルバーウィーク」「満員電車」（共にプレゼン）等は、これに近い出題である。また、日本の社会問題を解説させる純粋な「非観

光」のものとして「待機児童問題」(プレゼン)があったことが注目される(「テレビ離れ」(プレゼン)もこれに近い)。ガイドたるもの、新聞等で常に最新情報に対するアンテナを張るべし、という試験委員からのメッセージであろう。

逐次通訳

まず、問題文の出典についてであるが、前年度の問題文は、そのうちの相当数につきネット上で入手可能な既成の文章を借用していたことが判明しているのに対し(『H28 過去問詳解(上)』参照)、今年度の問題文は全てにつき出典が不明(ネット検索で引っかけられない)である。今年度は昨年度とは方針を変え、問題作成担当者オリジナルの文章を出題した可能性が高い。もっとも、元来 H27 年度までは本年度と同様に出典は判明していなかったため、以前の状態に戻っただけ、ともいえる。これは、著作権に対する配慮であるのかもしれない。

次に、昨年度より顕著になった「問題文の長文化傾向」についてであるが、これまでの出題文の文字数変遷をまとめると、以下の表のようになる。

逐次通訳問題文の文字数変遷

	問題数	最長	最短	平均
サンプル問題	1 題	79 字	79 字	79 字
H25 年度	6 題	105 字	82 字	93.7 字
H26 年度	6 題	109 字	73 字	87 字
H27 年度	26 題	105 字	65 字	85.1 字
H28 年度	12 題	159 字	110 字	134.4 字
H29 年度	12 題	151 字	112 字	126.8 字

この表を見ると、最も長い問題文が、昨年度は 159 字であったのに対し、今年度は 151 字と若干短くなっているが、最も短い問題文については、昨年度が 110 字であったのに対し、今年度は 112 字と微増している。そして、平均で比較すると、昨年度が 134.4 字であったのに対し、本年度が 126.8 字とやや短くなっていることが分かる。

ページ
中略



解答解説編

時間帯 1 & 2 & 3



本編では、本試験の出題を再現し、これに対する解答例を示した上で、解説を加える。

課題は、①逐次通訳、②プレゼンテーション+質疑応答、の2つである。この2つは、面接での課題であるので、机上で学ぶだけではなく、音声等を用いて、実際に演習することが大切である。そこで、本番形式の演習用教材として、①逐次通訳には、DVD 動画を用いた『逐次通訳過去問勝負！』を、②プレゼンテーションには、『モデル・プレゼンテーション集 過去問編』（朗読 CD 付）を併用されることをお勧めする。

	<p>H29 逐次通訳過去問勝負！（上）</p> <p>通訳は、①音声要件、②時間要件の下で行わなければならない、という点が「英作文」とは異なる。そこで、この両方を満たした演習を行うために動画を最大限に利用した DVD 教材。出題者が読み上げで問題を出した後、1分間のタイマーで時間管理を行う動画が収められている。通訳理論テキスト付。</p>
	<p>モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅶ</p> <p>本文と和訳は、『過去問詳解』と同一だが、見やすい英和見開き式レイアウト、スピーチの構造に着目した独自の解説、出題趣旨の分析、などを特徴とし、持ち運びしやすい A5 版の書籍にまとまっていて、これに朗読 CD が付属している。各プレゼン課題の出題趣旨の分析についてはこの本の解説が詳しいので、過去問研究においては、これを『過去問詳解』と併用すると効果大。</p>

時間帯 1

問題セット 1

逐次通訳

問題

カツ丼は、ご飯の上に、タレと卵でとじた豚カツを乗せたどんぶり料理です。庶民的な家庭料理ですが、外食としても人気があります。一般的なカツ丼は、いったん豚カツを作り、これを玉ねぎとタレで軽く煮こんでから溶き卵を入れ、温かいご飯の上に乗せて食べます。
(122 字)

解答例

Katsudon is a bowl of rice with a pork cutlet cooked in a special sauce and topped with a beaten egg. It is popularly enjoyed both in homes and at restaurants. The common katsudon is made by preparing a pork cutlet, which is lightly simmered with sliced onion in sauce and with beaten egg poured over it afterwards, and then served on hot cooked rice. (65 words)

英語表現

- どんぶり飯 bowl of rice [b'oul]
- 豚カツ pork cutlet
- 溶き卵 beaten egg [b'i:tn]
- 煮込む simmer [s'imə]
- 注ぐ pour [p'ɔ:ə]
- ご飯 cooked rice

関連知識と通訳のコツ

本問は、まず問題文の長さの点について 122 字と、平成 28 年度の長文化以後の問題の中では、平均的なものであるといえ、問題文を朗読してみると、約 24 秒であった。ただ、これは通訳者が通常リテンションする長

さとして短いものであるとまではいえず、難易度は低くない。

内容的には、和食の作り方を述べたものであり、外国人観光客の和食づくり体験などを念頭に置いた出題であると思われる。語彙・表現としては料理英語（クッキングリッシュ）が必要であり、通常の教科書英語だけではなかなか対応し難いであろう。同趣旨の類題として、寿司飯の作り方を説明した H28 年度の出題が挙げられる。

表現で迷うのが「卵とじ」だが、こうした場合の「とじる」にピッタリ対応する英語の動詞は存在しないようなので、単に “topped with a beaten egg” “with beaten egg poured over it afterwards” のように実際の態様を英語で表現した。「豚カツ」や「タレ」は、厳密には少し異なるかもしれないが、時間的制限のある通訳においては解答例のようにそれぞれ “pork cutlet” “special sauce” としておけば十分であろう。

関連過去問

「寿司飯の作り方」(H28 時間帯 3 通訳) < 『H28 過去問詳解 (上)』 参照

プレゼンテーション

問題

- ① 交番
- ② インスタ映え
- ③ 奥入瀬溪流

解答・解説

① 交番

プレゼンテーション例

I would like to talk about koban.

A koban, or police box, is a small police substation. “Koban” literally means “on duty in shifts,” with many koban operating 24/7.

The modern Japanese police system was initiated by Takamori Saigo, a 19th-century national hero instrumental in defeating the

shogunate. He assigned Toshiyoshi Kawaji, one of his followers in his home, Kagoshima, Kyushu, to head the new government's police force, and he built the foundation of today's Japanese police.

Inheriting the spirit of Saigo and Kawaji, koban today strive to help people and fight against crime. There are thousands of koban throughout Japan. The buildings have a "KOBAN" sign in Roman letters, a red light, and a police badge on the front, making it easier for everybody to find them. The koban's reception area is usually visible from the outside, and people come to ask directions, report accidents, property loss, and crimes.

An important part of the community, the koban's presence gives a sense of security and prevents crime. Seeing it as a great contributor to the low crime rate in Japan, such countries as Singapore, America, and Brazil have imported the system. I hope this helps you appreciate koban. Thank you. (200 words)

英語表現

- police box 交番
- substation [sʌbstɛɪʃən] 派出所
- on duty 勤務中で
- in shifts 交代制で
- initiate [ɪnɪʃiət] 創始する
- national hero [hɪərəʊ] 国民的英雄
- instrumental [ɪnstrəməntəl] 力になる、役に立つ
- shogunate [ʃougənət] 幕府
- police force 警察隊
- inherit [ɪnhɪrət] 承継する
- red light 赤色灯
- ask directions 道を尋ねる
- property loss [prɒpəti] 遺失物
- sense of security [sɪkjʊərəti] 安心感
- contributor [kəntrɪbjətə] 一因

□ crime rate 犯罪率

プレゼンテーション例の和訳

私は、交番についてお話しいたします。

交番とは、police box ともいい、警察の派出所のことです。「交番」とは文字通りには「交代で勤務する」という意味で、その名のごとく、多くの交番は24時間年中無休で任務にあたっています。

日本の近代的警察制度は、討幕に力を尽くした西郷隆盛という19世紀の国民的英雄によって提唱されました。西郷は、九州の鹿児島出身で同郷人であり、西郷の熱心な支持者であった川路利良に、新政府の警察を率いるように命じ、そして川路はこれに答えて今日の日本警察の基礎を作りました。

こうした西郷と川路の志を継いで、現在の交番は一般の人々を助け、犯罪と戦うことを旨としています。日本には何千という交番があります。交番の建物の正面には“KOBAN”というローマ字で書かれた看板、赤色灯、それから警察の印章が掲げられ、誰でも容易に交番を見つけられるようになっています。交番の受付はたいがい外から見えるようになっていて、人々はここへ来て道を尋ねたり、事故、遺失物、犯罪の届け出を行ったりします。

交番は、地域社会の一部となっており、交番があることで人々は安心感を得、また犯罪が防止されます。日本の犯罪率が低いのは、交番の寄与するところが大きいとして、シンガポール、アメリカ、そしてブラジルといった国々が今や交番制度を輸入しています。今回の私のお話で、皆さんに交番についての理解を深めていただければ、大変うれしく存じます。どうもご清聴ありがとうございました。

質疑応答で出された質問

- ・日本は観光客にとって安全な国だと思うか。
- ・交番は何時から何時まで開いているのか。
- ・外国人も交番を利用できるか。
- ・交番では英語が通じるか。
- ・緊急時の電話は何番か。

ページ
中略

- ・多くの国では警官はあまり人気がないが、日本の警察官は人気があるか。
- ・日本の警察官は武器を持っているか。
- ・日本では、警察官を簡単に見つけられるか。
- ・交番では、怖そうな人から逃げた人を保護したり、道を教えたりする以外に、どのような仕事をしているのか。
- ・日本は安全な国だと思うか。
- ・日本の便利なところは何だと思うか。
- ・訪日外国人の数が多いのは、交番があることが理由なのか。
- ・交番では道を教えてくれるのか。
- ・日本の犯罪率は減っているのか。
- ・外国では犯罪は増えているのに、日本では減っている理由は何か。
- ・イギリスの警官は拳銃を持っていないのに、なぜ安全な国である日本では、警官が拳銃を持っているのか。
- ・日本では、満員電車でスリにあうことがあるか。スリにあわないようにするために、観光客が気を付けるべきことは何か。
- ・交番制度は、いつ、どこの国から導入されたのか。
- ・私はアメリカ人だが、私のような者を交番は助けてくれるか。交番の警官は英語を話せるか。
- ・あなたは、交番へ行って助けを求めたことがあるか。
- ・なぜ交番のような仕組みができたのか。
- ・外国語が話せる警官がいる交番はどこにあるか。
- ・警察のマスコット「ピーポー君」は、なぜ作られたのか。
- ・地方自治体のマスコットを説明せよ。
- ・警察官は、どのような訓練を受けているのか。
- ・科学警察研究所とは何か。警察研究所には博士がいるのか。

② インスタ映え

プレゼンテーション例

I would like to talk about *Insuta-bae*.

Insuta-bae is a Japanese word for “Instagenic” or “Instagrammable,” meaning “looking good on Instagram.” *Insuta-bae* was awarded first

ページ中略

質疑応答で出された質問

- ・天皇の退位についての問題点は何か。
- ・皇居の一部が公開されているとのことだが、入場料は必要か。
- ・私の母国イギリス王家は国内にたくさん住居を持っているが、日本の皇族はどうか。
- ・皇居はどのくらい古いのか。
- ・宮内庁はどのような仕事をするのか。
- ・数年前に女系天皇の議論があったが、なぜ実現しないのか。
- ・天皇家は国民に人気があるか。
- ・イギリスではロイヤルファミリー不要論があるが、日本ではどうか。
- ・右翼の宣伝カーの色はなぜ黒なのか。
- ・イギリスには英国王室が好きでない人がいるが、日本の人々は皇室をどう思っているか。

③ 満員電車

プレゼンテーション例

I would like to talk about *manin densha*.

Manin densha, literally “full train,” refers to jam-packed trains in big cities. Many commuter trains during morning rush hours in Tokyo are *manin densha* crammed up to 200% of their capacity, assisted by professional “pushers” pushing passengers in to get the doors closed.

Manin densha is as old as the heavy concentration of administrative and business functions in Tokyo. Seeing it greatly diminishing the nation’s productivity, many politicians have talked about it, but in vain. There are naturally many problems. Among these is sexual molestation. While females suffer, some innocent males also suffer from false charges. To counter this, some railway companies have introduced “women-only cars,” but they have fallen short of completely solving the problem. Some also criticize them as reverse discrimination against men.

Unfortunately, the *manin densha* problem is not expected to be

solved in the near future. Therefore, visitors are advised to plan well and avoid *manin densha*. The worst times are 7 am to 9 am in the morning and 5 pm to 7 pm in the evening, with the latter slightly less crowded. I hope you find this information helpful when planning travel in Japan. Thank you. (200 words)

英語表現

- jam-packed 鯨詰め状態の
- commuter train [kəmju:tə] 通勤列車
- cram 詰め込む
- capacity [kəpæsəti] 収容能力
- passenger [pæsəndʒə] 乗客
- concentration [kənsəntreɪʃən] 集中
- administrative [ədminəstrətɪv] 行政の
- diminish [dɪmɪnɪʃ] 損じる、減殺する
- productivity [prɒdʌktɪvəti] 生産性
- but in vain [veɪn] しかし結局、成果はあがらず
- sexual molestation [məʊləstේɪʃən] 痴漢行為
- false charge [fɑ:ls] 冤罪
- counter [kauntə] 対策を取る、対処する
- railway company [reɪlwèi] 鉄道会社
- women-only car 女性専用車両
- fall short of ~ ~までには至らない
- reverse discrimination [rɪvə:s diskriməneɪʃən] 逆差別

プレゼンテーション例の和訳

私は、満員電車についてお話しいたします。

満員電車とは、文字通りには「定員いっぱいの電車」という意味ですが、大都市で見られる鯨詰め状態の電車のことです。東京の朝のラッシュアワーにおける通勤通学用電車の多くは満員電車であり、とにかくドアを何とか閉めるためにプロの「押し屋」の人たちに乗客を車内へ押し込んでもらって、乗車率 200%まで人が詰め込まれています。

満員電車の問題は、東京への行政及びビジネス機能の過度一極集中と共に始まり、今日に至っています。これは我が国の生産性を著しく損なうものであるとして、多くの政治家が対策を論じてきましたが、成果は上がっていません。満員電車では、当然いろいろな問題が生じます。1つは痴漢の問題です。もちろん、女性が被害者ですが、実は、男性の痴漢冤罪も深刻な問題です。痴漢問題に対処するべく、鉄道会社の中には「女性専用車両」を導入したところもありますが、問題を完全に解決するには至っていません。また、女性専用車両は男性に対する逆差別だ、という批判も存在します。

残念なことに、満員電車の問題が近い将来に解決される見込みはなさそうです。よって、訪日観光客の皆様においては、前もって念入りに計画を立てることにより、満員電車を避けることが最善と思われます。一番ひどい時間帯は、朝の7時から9時、夜の5時から7時で、後者の方の混み具合は前者よりいくらかマシといったところですが。今回の私のお話を、皆様が日本旅行を計画する際のお役に立てていただければ幸いです。どうもご清聴ありがとうございました。

質疑応答で出された質問

- ・外国人観光客は、混雑する通勤電車にどのように対処すればいいか。
- ・横浜・品川間以外で混雑している路線はどこか。
- ・電車の一般的な乗り方を説明せよ。
- ・満員電車でトラブルを避ける方法は何か。
- ・どこの路線が特に混んでいるか。
- ・すいている路線はどこか。
- ・満員電車で困ることはどのようなことか。
- ・小池東京知事が満員電車を減らす政策を掲げたが、あなたはこれを有効だと思うか。
- ・満員電車について、外国人観光客にアドバイスせよ。
- ・日本人は、満員電車をどう思っているのか。
- ・日本では、自家用車による通勤はしないのか。
- ・スペインでは、会社が通勤用にバスを準備することがあるが、日本ではどうか。

ページ中略

- ・混んだ電車内では、荷物を棚に上げたり、背負っている荷物を前に持ってきたりする人が以前は多かったが、最近はそうでもないようだ。この点につき、どう思うか。
- ・満員電車において、外国人と日本人では振る舞いが異なるか。
- ・電車の奥は空いているのに、入り口付近に人が溜まっているのはなぜか。
- ・満員電車の中ではどのように振る舞えばよいか。
- ・どうすれば満員電車を解決できると思うか。
- ・夕方のラッシュアワーは何時から何時までか。
- ・観光客にお勧めの電車の利用時間帯はいつか。
- ・観光客にお勧めの電車チケットは何か。
- ・新宿から秋葉原まではどのようにして行けばよいか。
- ・東京のタクシーは、外国人観光客に勧められるか。
- ・東京にウーバーはあるか。
- ・地方のタクシーはよいか。
- ・東京から箱根までの交通手段は何がお勧めか。
- ・電車で日帰り観光をするとすれば、どこがお勧めか。
- ・山梨のおすすめ観光スポットはどこか。
- ・富士山に登る際に気を付けることは何か。
- ・ほうとうを説明せよ。

ページ
中略

PEP 英語学校理念

実務英語と受験英語を融合し、
楽しく効率的に英語を学び、
各人の自己実現を目指す

私たちは、学習によって自己の才能を開花させることができます。そして個人が「本来あるべき自分」になって活躍するのは、社会全体にとっても望ましいことです。今の日本で、英語学習を通じて自己実現したい人はたくさんいます。そして英語は単なる言葉ですから、これを学ぶ才能は誰にでもあります。ではなぜ「必ずしもすべての英語学習者が成功しているわけではない」という現状があるのでしょうか。

それは、多くの人が、英語を必要以上に複雑で難解な学問ととらえて苦勞したり、逆に安直に考えすぎて実力がつかなかったりするからです。こうした人々は、やがて勉強に嫌気がさし、せっかく持っている才能を現実化できないままになってしまいます。

この問題に関して、英語教育界には「実用英語と受験英語はどちらがよいか」という議論があります。しかし、両者は排斥し合うものではなく、それぞれ良いところがあります。英語の「実用性」を目標とし、かつ「正確性」を意識する、という姿勢で臨めば、学習者は英語を楽しくかつ効率的に学べるとともに、新しい自己を発見できます。

PEP 英語学校には、通訳・翻訳などで使われる実用英語と、資格試験・大学入試などで使われる受験英語の両方のリソースがあります。この両者の長所を取り入れることによって英語力を高め、学習者の潜在能力を花開かせることを PEP は自らの理念としています。PEP で学べば、これまで実用英語や受験英語に偏っていた人も、それまでの努力を生かしたまま上達することができます。

校名の“PEP”とは「元気」という意味の英語です。これは「自己実現を楽しく」という意味が込められています。そして“PEP”は頭文字語でもあって“Professional English Project”の略です。でも、決してプロ志望者だけのための学校ではありません。

英語学習による自己実現は、英語で仕事をするだけでなく、趣味として英語を学び、人生を充実させることも立派な自己実現です。ただ、たとえプロにならなくても、プロに憧れるのは健全な学びのマインドセットなので、学習目標として「プロ英語」を掲げたのです。

だから PEP では受講生の方々に、野球少年がプロ選手に憧れるような気持ちで英語を勉強していただきたいのです。英語は英語としてあくまで1つであって、アマもプロも同じ線上にあります。PEP は、一人でも多くの方がこの道を、それぞれの自己実現に向かって歩き始められるように願っています。

PEP 英語学校 校長 杉森 元

〔著者紹介〕

杉森 元 Hajime Sugimori

福岡県出身。大学で歴史学を専攻し社会科教員免許を取得。大手塗料会社海外営業部勤務の後、通訳案内士試験予備校講師、英検 1 級講師、代々木ゼミナール英語科講師、駿台予備学校英語科講師など英語教育に従事。その後、サイマル・インターナショナル専属同時通訳者となり、サイマル・アカデミー通訳者養成コースの講師も担当した。現在、PEP 英語学校校長。通訳案内士試験準備講座と会議通訳小教室の講師を務める。「楽しい学習による自己実現」がモットー。通訳案内士試験関連著書に『モデル・プレゼンテーション集』『通訳案内士試験二次口述過去問詳解』『逐次通訳七番勝負!』『コンピューター・フレンドリー日本事象英単語帳』などがある。趣味はクラシックギター、将棋、バードウォッチング、旅行など。



著者近影

平成 29 年度 通訳案内士試験二次口述過去問詳解（上）

2018 年 6 月 初版発行

著 者 杉森 元

発行者 PEP 英語学校

〒167-0023

東京都杉並区上井草 2-30-15 第二ケヤキビル 102 号

Tel: 03-5938-7777

HP: <http://www.pep-eigo.com>

Mail: info@pep-eigo.com

※本書を読まれて、ご感想等ございましたら、
ぜひ上記までお寄せください。

乱丁・落丁はお取替えします。

ISBN978-4-908485-13-8
C1082 ¥3520E



2017年12月3日(日)実施

課題一覧

掲載	面接時間帯	組	逐次通訳 (計 12 題)	プレゼンテーション (計 36 題)
上巻	1 10:00-11:00	1	カツ丼	①交番 ②インスタ映え ③奥入瀬溪流
		2	梅雨	①たこ焼き ②伏見稲荷大社 ③待機児童問題
	2 11:00-12:00	1	パクチー	①夏祭り ②前方後円墳 ③テレビ離れ
		2	三鷹の森ジブリ美術館	①シルバーウィーク ②爛酒 ③絵馬
	3 13:30-14:30	1	演歌	①潮干狩り ②回転寿司 ③神道
		2	屋形船	①コミックマーケット ②宮内庁 ③満員電車
下巻	4 14:30-15:30	1	プレミアムフライデー	①厳島神社 ②夏目漱石 ③割烹着
		2	道後温泉	①大相撲 ②ちらし寿司 ③門松
	5 16:00-17:00	1	花火大会	①民泊 ②ジンギスカン ③千羽鶴
		2	ねぶた祭	①お刺身 ②お歳暮 ③一富士二鷹三茄子
	6 17:00-18:00	1	日光東照宮陽明門	①風呂敷 ②七草 ③ドローン
		2	摩周湖	①鯉のぼり ②おせち料理 ③桜前線

※問題組及びプレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※逐次通訳課題のタイトルは、その問題文の内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。

 **PEP英語学校**
We are full of PEP!

無断複製を厳禁します。